

Ⅲ－４－（２）取得できる学位

健康科学部理学療法学科を卒業した者	学士（理学療法学）
健康科学部整復医療・トレーナー学科を卒業した者	学士（柔道整復学）
健康科学部看護学科を卒業した者	学士（看護学）

了徳寺大学の開学理念			
日本固有の美や和の精神を継承し、新たな価値を生み出すために、未来を拓く若人に、美しい環境と真摯に学ぶ場を提供する。いつも自立の心と連帯を重んじ、いかなる時も希望を持ち、友愛を深める人を目指す。そして地域、国、やがて世界へ貢献することを誓い、開学する。校章の四葉は、「自立、連帯、希望、友愛」をあらわし、周囲をめぐる帯には、和の心をこめる。医療と芸術の融合による新たな社会創造に向かい、我々の熱き思いを継ぐ人々の恒久の学府たらん事を希求する。			
健康科学部の教育目的			
健康科学部は、本学が掲げる「医療と芸術の融合」を基本理念とし、日本固有の美や和の精神を基に、豊かな人間性と倫理観を身につけ、保健・医療・福祉の向上に努める高度な専門職業人を育成することを目的とする。			
	理学療法学科	整復医療・トレーナー学科	看護学科
教育目標	豊かな人間性と倫理観、確かな知識・技術を備え、医療の高度化に対応した理学療法を提供することで、複雑・多様化する国民の保健・医療・福祉分野のニーズに応えることができる専門家を育成する。	豊かな人間性を有し、整復医療を中心に保健・医療・福祉・スポーツ医科学分野で健康管理をサポートできる、優れた知識と技術を身につけた指導的人材を育成する。	豊かな人間性を培い、特に芸術を通して感性を育むとともに、看護の専門知識・技術、専門職としての誇りを身につけ、将来指導的立場に立って看護の役割と責任を果たし、変化する地域社会の医療・福祉に貢献できる人材を育成する。
学位授与の方針: 卒業に必要な所定の単位を修得し、以下のような能力と態度を身につけた学生に卒業を認定、学士の学位を授与する。			
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 理学療法に必要な保健・医療・福祉の基本的な知識を身につけて、国家試験に合格できる水準に達している。 異文化に関する知識を持ち、国際的な視野を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 整復医療および保健体育・スポーツ医科学分野に必要な身体と運動の仕組み、及び医学的知識を理解している。 異文化に関する知識を持ち、国際的な視野を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 看護の専門領域の基本的な知識と技能を修得している。 あらゆる対象のニーズに応じた看護を理解している。
汎用的技能	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な理学療法を実践することができる。 チームの中で協働するコミュニケーション能力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技能を応用することができる。 医療人として必要なコミュニケーション能力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間関係を形成し、他専門職の人々と連携するためのコミュニケーション能力を身につけている。 科学的思考に基づき看護が実践できる。
態度・志向性	<ul style="list-style-type: none"> 感性豊かな人間性と倫理観を備え、人間の尊厳を重視することができる。 科学的探究心・向学心・批判的思考と研究的態度を身につけ、生涯にわたって学習を継続することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 高い倫理観と豊かな人間性を有し、保健・医療・福祉・スポーツ医科学分野で積極的にその能力を発揮することができる。 社会の変化に目を向けつつ、生涯学習を実践することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 感性豊かな人間性と倫理観を備え、人間の尊厳を重視する。 看護の役割と責任を自覚しつつ、他専門職の人々と協働することができる。 保健・医療・福祉のニーズに基づいて、地域に貢献できる。
統合的な学習経験と創造的思考力	<ul style="list-style-type: none"> これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その問題を解決する能力を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自ら課題を発見し、その課題に取り組み解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 獲得した知識・技能・態度を統合して、問題解決にあたることができる。 研究的態度を身につけ、生涯にわたる自己啓発能力を有している。
医学教育センターの目的・目標			
<p>目的 医療分野の専門職業人となるために必要な医学的な基礎知識を身につけることを目的とする。</p> <p>目標 1. 人体の正常な構造と機能、ならびに心身の発達に関する基礎知識を獲得する。 2. 獲得した基礎知識をもとに、疾病の成り立ちと回復の促進について総合的に理解する。 3. 医療全体の諸課題について問題意識を持ち、総合的に判断し、解決する能力を養う。 4. 絶えず進歩する医学的知識に関心を持ち、新しい知識の獲得に努める能力・態度を身につける。</p>			
教養教育の目的・目標			
<p>目的 1. 幅広い学問分野の考え方を学ぶことを通じて専門職として必要となる総合的判断力や豊かな人間性を涵養するとともに、生涯にわたる自主的勉学の意欲を形成する。 2. わが国特有の知的・精神的基盤を理解したうえで、国内のみならず国際社会において学術文化交流を展開できる基礎的な力を育成する。</p> <p>目標 1. 広く内外の芸術文化について学び幅広い視野を養うとともに、豊かな人格を涵養する。 2. 人間の本質について学び、人間の尊厳を最重要視できる人格を涵養する。 3. 外国語能力と情報処理能力を育成し、他者との意思疎通を積極的に行う力を育成する。 4. 幅広い知識に基づき現代社会が直面する諸課題について総合的に判断する能力を養う。 5. スポーツに親しみ心身ともに健康で活力のある生活を維持する態度を育成する。</p>			